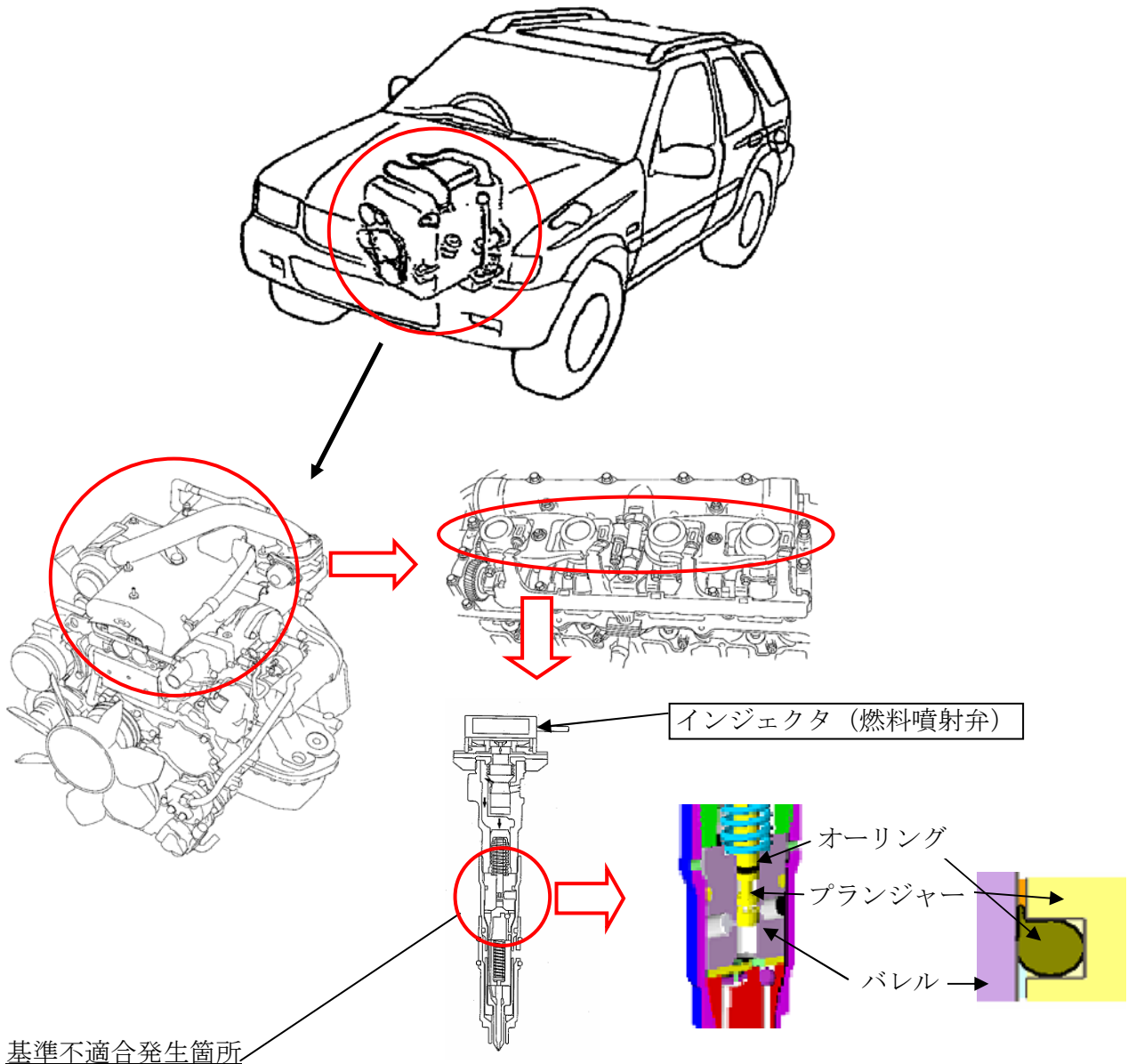


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

原動機の燃料噴射装置において、インジェクタ（燃料噴射弁）の設計寸法が不適切なため、プランジャーとバレルの隙間が大きいものがあり、オーリングが変形、損傷して気密性が損われ、燃料の軽油がエンジンオイルに混入するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オイルパンの油量が増大し、ブローバイホースを経由して吸気管に軽油の混入したオイルが吸入され、原動機の回転が上昇するおそれがある。

改善の内容：全車両、インジェクタのシリアル番号を確認し、対象となるものは全気筒のインジェクタを対策品と交換する。

識別：IDプレート付近に黒色ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す